

令和2年3月吉日

保護者の皆様

株式会社 介護の扉
代表取締役 中元 慎吾

保護者アンケートのお礼と、結果について

過日は、ゆめの扉保護者アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。お忙しい中多くのご回答（回収率 78.5%）をいただいた事、また貴重なご意見やご要望等を頂戴できましたことを感謝申し上げます。

アンケート結果の集計は別紙ご参照ください。この紙面では、皆様からいただいた一つ一つのご意見（改善策等）のすべてにお答えすることができませんが、以下に頂いたご意見に対して、現状の取り組み状況や回答をさせていただいております。皆様のご意見等を参考に、より良い放課後等デイサービスの運営を目指し努力を継続して参ります。今後ともゆめの扉の運営にご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

アンケートのご意見より

① 「活動スペースについて」

昨年のアンケートでも同様のご意見を頂きましたが、療育の内容により公園や併設のデイサービスのフロアを使用する事を行っております。大勢が集合した際には、手狭さを感じさせてしまう事もあるかと思いますが反面目が届きやすく孤立を防ぎ交流も図りやすくなる事や譲り合う事を学ぶ機会となるなど小規模だからこそ経験出来る事もあると考えております。

② 「職員の人数について」

職員の人員は適正な人数を配置しております。多くの職員を配置する事でサービスの質を上げていく事が可能かもしれませんが、適正数以上を配置することは経営上非常に厳しい事であり持続可能な運営を妨げる事に繋がる事をご理解していただけたらと思います。

③「子どもの発達状況や課題について共通理解できているかについて」

すべてのスタッフと共通理解できているか解らないとのご意見いただきましたが、発達状況や課題に対し療育を行う際は目的や目標を定め、意図を持って行っています。その意図を全職員の共通理解で行えるようミーティングや会議等を行っております。

しかし理解度が職員の経験や技術の習熟度によりばらつきはあるかもしれません。今後も職員一同スキルアップに努め、児童の課題やご家族の悩みを理解しチームでより良い支援ができるよう努めてまいります。

④「保護者会について」

毎年一番意見が分かれています。希望者の皆様の声を無視する事は出来ないと考え実現可能な方法を模索してはりましたが、すべてのニーズを満たすことは困難な状態です。具体的は課題としては、ご家族の負担が少なく通常の支援の妨げとならない開催日時や学年・世代により課題が違う中で何を目的とした内容が適切なのかなどがあげられます。ただ集まるだけであれば開催は可能ですが、せっかくお忙しい中お集まりいただくとしたら有意義なものとしなければならないと考え、なかなか実現できていない現状です。どのような内容でどんな時間が良いなど、良い意見があればお聞かせいただき一緒に検討していければと思います。

⑦その他

「困りごとや目指したい方向性など、すぐに相談に乗ってくださり、アプローチの仕方や対応の仕方など一緒に考えて頂いている」。

「自分で通える事、友達と協力して作品を作る事、何かあればすぐに助けてくれる先生がおられる」

「安心・楽しみに通所しています」

「本人はすっごく楽しみにしています。それが一番です」。

上記のような日々の関わりを評価して頂いたありがたいお言葉も頂きました。

我々職員も日々の成功体験や失敗体験の中で、今日より明日はもっと良い支援ができる職員でありたいと思っております。ありがたい言葉を励みに、今後とも職員一同皆様の期待に応えられるよう努力をしてまいります。